



「実りの秋」を迎えます！

「秋の長雨」と言われますが、暦どおり雨の日が多い9月となっていました。季節の移り変わりの時期であり、気温も安定しない日が続きます。体調を崩すことが多いのもこの時期です。栄養のバランスを考えた食事や疲労をできるだけ残さないようにすることが大切です。

本校では、10月5日(月)から衣替えの完全実施となります。食欲の秋、読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋など、何をするにもいい季節を迎え、新人戦やコンクール、そして校内文化祭と行事が続きます。「実りの秋」大きな成果を上げてくれるものと期待しています。

文化祭に向けて！

10月16日(金)に、校内文化祭を実施します。生徒たちは、朝、昼、放課後と合唱練習を行い、実行委員を中心に準備を進めるなど、文化祭に向けて活気に満ちた学校生活を送っています。全校生で力を合わせ、質の高い感動的な文化祭にしたいと思います。当日の生徒たちの発表を楽しみにしていただければと思います。

プログラム(予定)

開 祭 式	8:30~
学 年 発 表	8:50~
合唱コンクール(1年)	10:00~
合唱コンクール(2年)	11:00~
(昼食・休憩)	12:00~
合唱コンクール(3年)	12:50~
合唱部発表	13:50~
有志発表	14:20~
吹奏楽部発表	14:50~
閉 祭 式	15:20~

県英語弁論大会出場！

11日(金)に、いわき市文化センターにおいて第64回福島県下中学校英語弁論大会が開催され、岩瀬地区の代表として、関陽さんが創作の部に出場しました。残念ながら入賞は逃しましたが、堂々としたすばらしい発表でした。

新人戦のお知らせ！

29日(火)、30日(水)の2日間に、岩瀬支部中体連新人総合大会が開催されます。お忙しい中とは存じますが、たくさんの応援をお願いいたします。

軟式野球	牡丹台、岩瀬グリーン
ソフトボール	須賀川市民スポーツ広場
バスケットボール	須賀川一中体育館
バレーボール	鏡石中体育館
サッカー	鳥見山陸上競技場他
ソフトテニス	牡丹台庭球場
バドミントン	鳥見山体育館
卓 球	須賀川アリーナ
柔 道	須賀川市武道館
剣 道	大東中体育館
体 操	須賀川二中体育館

競技開始時間については、種目によって異なります。

《二中生の活躍》

全日本合唱コンクール東北支部大会 金賞
福島県川柳賞
青少年奨励賞 関口 颯太(3年)
全国地域安全運動・暴力追放運動・ポスター・標語コンクール
・地域安全標語 優秀 須藤 祥太(3年)
佳作 樽川 正伸(3年)
ライオンズクラブ国際平和ポスターコンテスト
優秀賞 佐藤希美 志田玲稀
添田結衣(1年)
県中県南新人陸上競技大会
1年1500m 県中3位 柏原梨花(5分28秒97)
100mH 県中3位 齊藤なお(18秒15)
砲丸投 県中2位 西間木涼乃(8m83)
県中4位 柳沼麻綾(8m58)
以上県大会出場

南東北ソフトテニス大会
3位 吉田英斗・會田遥輝
県中県南中学校・県南ジュニア体操選手権大会
男子団体総合 2位
群馬クレインサンダーズカップバスケットボール大会
女子 2位
市民体育祭野球大会 2位
三校対抗野球大会 2位



国際平和ポスターコンテスト表彰

24日(木)の昼休み時間に、本校でライオンズクラブ国際平和ポスターコンテストの表彰がありました。美術部の3名の生徒が受賞しました。



生徒会役員選挙立会演説会を実施！

17日(木)の5,6校時に、生徒会役員選挙立会演説会を実施しました。立候補者は7日(月)から選挙運動を行い、登校時や昼休みなどを中心に、全校生徒に公約を訴えてきました。

立会演説会では、「二中をこんな学校にしたい。そのためにこのことをしていきたい。」と自分の考えを堂々と全校生徒に



訴えました。

今回はそれぞれの役職に10名の生徒が立候補しましたが、すべてが無投票での当選となりました。二中のリーダーとして大いに活躍してほしいと思います。



壮行会(新人戦・吹奏楽)を実施！

25日(金)の6校時に新人戦と吹奏楽部の壮行会を実施しました。壮行会も回を重ねるごとに上達し、全校生が心を込めた大きな声で応援することができるようになりました。試合やコンクールにおいても、全校生の応援が心強いものとなり、自分たちの持てる力が発揮できるものと思います。

新人チームになって初めての本格的な試合となります。各部とも、昨年以上の成績を収めることを期待しています。また、吹奏楽部も上位の大会に出場できるよう、感動させる演奏をしてきてほしいと思います。

こころの窓

ひと昔前の学校の玄関には大きな鏡があって、登校した際に服装を正し一日をスタートしたものです。現在の二中にも2階に上がる階段の途中に大きな鏡があります。鏡は、左右が反対になることはあっても、そのままの姿を映し出してくれます。時には服装の乱ればかりではなく、心の様子も教えてくれることがあります。今日の心の状態はどうか、鏡で確認して一日を始めるのも大切なことかもしれません。

機関誌「P H P」から的一篇を紹介いたします。

心の鏡

自分の身なりを正すためには、人はまず鏡の前に立つ。鏡は正直である。ありのままの姿を、ありのままに映し出す。自分のネクタイは曲がっていないと、頑固に言い張る人でも、鏡の前に立てば、その曲直は一目瞭然である。だから人は、その誤りを認め、これを直す。

身なりは鏡で正せるとしても、心のゆがみまでも映し出しはしない。だから、人はとにかく、自分の考えやふるまいの誤りが自覚しにくい。心の鏡がないのだから、無理もないと言えばそれまでだが、けれど求める心、謙虚な心さえあれば、心の鏡は随処にある。

自分の周囲にある物、いる人、これすべて、わが心の反映である。わが心の鏡である。すべての物がわが心を映し、すべての人が、わが心につながっているのである。

古の聖賢は、「まず自分の目から梁を取りのけよ」と教えた。もう少し周囲をよく見たい。もう少し周囲の人の声に耳を傾けたい。この謙虚な心、素直な心があれば、人も物も皆わが心の鏡として、自分の考え、自分のふるまいの正邪が、そこにありのままに映し出されてくるであろう。

聖賢……知識・人格にすぐれた人物



P T A 親子奉仕作業

26日(土)の早朝に、第2回P T A親子奉仕作業を行いました。雨の日が多く、校舎周辺の雑草がかなり伸びていましたが、作業後はとてもきれいになりました。

お忙しい中、たくさんの保護者の皆様にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

